

大地震発生時の対応タイムライン(安平町)

大きな地震が発生したら

① 地震直後(0～4分)

～自宅で、激しい揺れを感じたら、まず身を守る～

- ・身を守る行動を最優先(頭を保護・家具から離れる): シェイクアウトの姿勢で
- ・揺れが収まるまで自宅内で移動しない
- ・出火の有無を確認: 揺れが収まってから、室内の移動時は足元に注意
- ・玄関など出口を1つ確保: 室内にいるときも同様にドアの開閉を確保

② 初期安全確認(1～40分)

～身の安全を確認したら、周囲を確認～

◆家の中のチェック

- ・ガス臭の確認→使用中のガスレンジ等は消火
- ・ブレーカーを落とす準備→停電時は通電火災を防止
- ・ガラス破損・家具転倒確認
- ・負傷確認

◆自宅周辺の危険確認

- ・外壁・塀・屋根・基礎(外観)の破損を確認
- ・道路の亀裂や電柱の傾き確認

③ 地域特性(安平町)の再確認

～自宅の災害リスクを再確認～

- ・安平川や支川、ダムの周辺では、増水や堤防等損傷に注意
- ・川に近づかない: 避難経路から避けて
- ・斜面崩壊の危険: 崩壊土砂の流れる地域を避ける
- ・冬期は保温優先: 凍傷・低体温症の予防

④ 避難判断(10～20分)

～自宅に異常があるときは避難所へ、自宅に異常がなければ自宅で避難～

◆避難が必要

- ・家屋に傾きや大きな亀裂(自宅周辺で液状化)
- ・ガス漏れが継続
- ・火災
- ・河川の損傷や溢水: 町からの情報・避難指示に注意
- ・避難指示発令: 津波の危険が無い地域での避難指示は土砂災害が想定

◆自宅待機(自宅避難)

- ・建物被害が軽微
- ・火災や河川の危険なし： 情報収集は継続して行う
- ・外の危険が高い： 夜間・寒冷時・大雨・暴風など外の方が危険なとき

⑤ 避難すると決めたら(20~40 分)】

◆最低限の持ち出し→日頃から準備しておく

- ・スマホ・充電器
- ・防寒具
- ・水・食料
- ・薬
- ・懐中電灯

◆行動時のポイント

- ・裸足禁止：「ケガ防止＋低体温症防止」のためにスリッパ等の着用を推奨
- ・徒歩優先
- ・倒木・架線に注意： 足元だけではなく頭上にも注意
- ・指定避難所へ →まずは1次避難所を目標に
- ・町からの情報確認： ホームページ、あびらチャンネル

⑥ 避難所到着後

- ・受付→配慮が必要な方は受付に申し出る
- ・ケガの申告
- ・毛布受け取り
- ・ベットの職員へ申告： 避難所によってはベットの受入れ体制が整っていない場合あり

⑦ 自宅へ戻る判断

～自宅・自宅周辺の安全を確認して帰宅～

- ・町が危険区域解除(避難指示解除)
- ・家屋の安全確認
- ・ガス・水道・電気の安全確認

(参考) 大きな地震が起きる前に

北海道・三陸沖後発地震注意情報が発表されています。安平町では、津波被害の対象地域ではないものの、揺れによる被害に備える必要があります。備えを確認する機会にしましょう。

①日頃からの備え

- ・備蓄、持出袋→自宅避難のための携帯トイレ、水、食料電池などの確保
- ・避難場所・避難経路(避難に手伝いが必要な方は支援者との連絡手段)を確認
- ・家族との安否確認方法を確認
- ・避難時の情報収集手段(気象情報、被害情報、生活情報)を確認